

	自己点検チェックポイント	判定	具体的な内容
1	代表者(経営者)は、法令を守ること安全を最優先とすることなどの考え方を盛り込んだ安全方針を作っているか。	○	安全及び法令順守は最大の守るべき使命であるとし、報告・連絡・相談の徹底をし輸送の安全を最優先とする。
2	代表者(経営者)は、安全方針を社内周知しているか。	○	社内掲示・ホームページにて公開している。
3	代表者(経営者)又は安全統括責任者は、安全方針を実現するため、1年毎に安全目標を作っているか。	○	安全目標を毎年作成し、結果を乗務員全員に周知し予防策を話し合っている。
4	安全運行に努め、安全目標を達成している。	×	安全運行には努めているが物損事故1件あり。
5	代表者(経営者)は、重大事故が発生した場合の対応方法を決めているか。	○	連絡体制図を作成し周知している。
6	代表者(経営者)は、安全に必要な設備の更新・整備や人員の配置等を行っているか。	○	2024年度はドライブレコーダーとデジタコを入替、点呼時の動画撮影をしている。
7	安全統括責任者は、安全方針を社内周知している。	○	社内掲示と社員携帯カードにて周知している。
8	安全統括責任者は、その職務を把握し、社員を指揮・指導し、安全目標の達成に向けた取組を積極的に行っているか。	○	安全会議を開催し、乗務員や運行管理者等への指導を実施している。
9	安全統括責任者は、代表者(経営者)との連絡を密にし、輸送の安全に関する情報を集め、代表者(経営者)に報告しているか。	○	
10	安全統括責任者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割を明確に定めているか。	○	
11	安全統括責任者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割を周知しているか。	○	輸送の安全に関する連絡体制図を作成し周知している。
12	社内において、輸送の安全に関する定期的な話し合いを行っているか。	○	年2回実施
13	代表者(経営者)は、社員と直接話す機会を作り、安全に関する指示・指導をしたり、社員から意見・要望を収集しているか。	○	教育計画に沿って月1回の教育実施の際には代表者も参加し意見や要望を収集している。
14	旅客から輸送の安全に関する意見・要望を収集しているか。	○	苦情処理簿を活用している
15	関係法令や社内規則を遵守して、安全運行しているか。	○	

16	安全管理・運行管理に関する社内規定が適切に管理されているか。	○	
17	安全運行に必要な教育・訓練を定期的実施しているか。	○	年12回実施している。
18	代表者（経営者）や安全統括責任者等は、外部が主催する運輸安全マネジメントに関する研修等に参加している（社内教育の受講も含む）。	○	
19	17及び18の教育・訓練等の実施状況を記録している。	○	
20	事故が発生した場合、代表者（経営者）まで事故の情報が現場から報告されるようになっているか。	○	組織図を作成し社内へ掲示している。
21	発生した事故の再発防止策を考え、実行しているか。	○	自己記録簿を作成し活用している。
22	ヒヤリ・ハット情報を集め、事故防止に活用している。	○	
23	他社の事故事例などを集め、自社の事故防止に活用しているか。	○	国土交通省メールマガジン「安全通信」を購読し事故事例を集めて、話し合いを実施している。
24	緊急通報・連絡先を少なくとも1年毎に見直し、電話番号などに変更がないかどうか確認しているか。	×	変更があった時に確認しているが、定期的には実施していない。
25	20～24の実施状況を記録しているか。	○	
26	事故が発生した場合、必要な報告を国土交通省にしているか。（報告が必要な場合）	○	
27	代表者（経営者）は、少なくとも年に1回は安全の確保に向けた取組状況（安全目標、安全目標達成に向けた取組、安全管理の取組体制、情報の伝達体制、事故防止策、教育・訓練等）を点検し、問題があれば改善しているか。	○	4月の安全会議では、前年度の安全目標について話し合い、今年度の安全目標に反映させている。
28	28の実施状況を記録しているか。	○	

有限会社 大和交通
安全統括管理者：齋藤慶子